

JPDA 4月臨時理事会議事録

日 時：平成30年4月18日（水）午後1時30分～午後4時30分

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

出席者：理事24名中20名（伊藤 透、青木（入江）あずさ、井上 聡、牛島志津子、

畝野裕司、梅原 真、江藤正典、小川 亮、加藤（桑）和美、小原 司、
佐野暁子（文胡）、竹内清高、中越 出、永島 学、永田麻美、中森恭平、
藤田 隆、森 孝幹、八木勇達、山崎 茂）

欠席理事4名（小川裕子、加藤芳夫、加藤憲司、信藤洋二）

監事2名中2名（池田 毅、時田秀久）

議事の経過

定款第31条（議長）により、伊藤副理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者22名を確認、定款32条（決議）による出席者が過半数に達していることを確認し、定款34条により議事録署名人が伊藤透副理事長、池田毅監事、時田秀久監事の3氏であることを確認し、議事に入る。（**決裁事項はゴシック**）

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに個人1人、賛助1社より入会申込みがあり、定款6条（会員の資格取得）並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記1人、1社の入会を承認した。

（1）個人会員（1人）

<東日本>

富永 泰弘（とみなが やすひろ）（推薦者＝福井 政弘）

（2）賛助会員（1社）

<東日本>

一般社団法人 日本能率協会（代表者＝上沖 典保）

第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した個人会員4人の退会を承認した。

（1）個人会員（4人）

<東日本>

高見 裕一（たかみ ゆういち）（近年、デザイン業務の受注が全て広告デザインにシフトしているため）

[平成30年7月末退会希望]

永井 孝子 (ながい たかこ) (会社を廃業するため)

[平成30年3月末退会希望]

瀬古 典子 (せこ のりこ) (文芸国保のメリットがあまりなかったため)

[平成30年3月末退会希望]

大川 浩 (おおかわ ひろし) (事業環境が厳しく、2年の休会後も改善が見込めな
いため)

[平成30年3月末退会希望]

第3号議案 休会承認の件

本日の理事会までに休会届を提出した個人会員2人の休会を承認した。

(1) 個人会員 (2人)

<東日本>

林 修子 (はやし しゅうこ) (仕事と親の介護で余裕がなくなってきたため)

[平成30年4月～平成32年3月の間 休会希望]

矢澤 俊介 (やざわ しゅんすけ) (現在パッケージの仕事をあまりしていないため)

[平成30年4月～平成32年3月の間 休会希望]

第4号議案 協会名義使用承認の件 (過去に実績があり既に承認済) (P. 17～30)

本日の理事会までに下記4件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

(1) 後援名義使用の依頼

- ・「2018 日本パッケージングコンテスト」(後援名義使用とJPDA賞交付)

(主催：公益社団法人日本包装技術協会)

- ・審査日：平成30年6月14日(木)

- ・表彰式：平成30年8月29日(水) 東京ガーデンパレス

- ・一般展示：平成30年10月2日(火)～5日(金)

【東京国際包装展2018 (TOKYO PACK：後述) 特設コーナーにて】

- ・「World Interiors Week 2018 in Japan」

(主催：公益社団法人日本インテリアデザイナー協会)

公益社団法人日本デザイン振興会)

【平成30年5月25日(金)～31日(木) 東京ミッドタウン5階

デザインハブ・インターナショナルリエゾンセンターにて】

(2) 協賛名義使用の依頼 (2件)

- ・TOKYO PACK 2018-2018東京国際包装展」

(主催：公益社団法人 日本包装技術協会)

【2018年10月2日(火)～10月5日(金) 東京ビッグサイト】

・「日本プロモーションナル・マーケティング協会展」

(主催：一般社団法人 日本プロモーションナルマーケティング協会)

【平成30年10月17日(水)～19日(金)

東京都立産業貿易センター(台東館)】

第5号議案 正副理事長報告

加藤理事長、伊藤副理事長より現状の活動状況について以下の報告があった。

加藤理事長報告(伊藤副理事長が代読)

・3/26 アスパックキックオフミーティング

(伊藤副理事長、渡邊事務局長同席)

⇒国際交流基金からの支援が2018年度で終了するという報告があり、それ以降の学生に向けた活動をJPDA新役員(理事会)と話し合うと返答した。

森理事からは、「国際交流基金での、2020年に向けての多数あるプロジェクト(アスパックを含む)予算の見直しがあり、当面2019年度以降の支援はなくなったので、今後どのような形でこの事業を続けていくのかということについてJPDAと話し合っていかなければならない」との補足があった。

・4/9 内部監査(池田監事、時田監事、小川理事同席)

・4/10 60周年に向けたミーティング(伊藤副理事長、小川理事、山崎理事、信藤理事、渡邊事務局長同席)

・4/11 インドネシア工業省ご一行と面談(JETRO担当者同行)

・4/17 日本パッケージングコンテスト授賞式に列席
広報委員会引き継ぎ

・4/20 日本タイポグラフィ協会表彰式に列席予定

伊藤副理事長報告

・3/22 デザイン会議2018会場視察

ギフト向上委員会講演打合せ

・3/26 アスパックキックオフミーティング

・3/28 ギフト力向上委員会セミナーに出席

・4/10 60周年に向けたミーティング

・4/22 国内交流委員会に出席予定

・5/25 ギフト力向上委員会セミナーにて講演予定

第6号議案 平成29年度事業活動報告及び収支決算報告 承認の件

(1) 平成29年度事業活動報告

渡邊事務局長から、平成29年度事業活動実績が報告され、原案通り承認された。

総務担当の小川亮理事より、「5月31日の通常総会では活動状況がわかりやすい、映像（動画あるいは写真）を使いたいので、各委員会に活動結果に関する資料の提供をお願いしたい」という依頼があった。

(2) 平成29年度収支決算報告

渡邊事務局長から、4月9日に内部監査が行われた平成29年度収支決算が報告され、原案通り承認された。（正味財産増減計算書参照）

29年度の**経常収益**は予算7,528万円に対し、**実績は7,198万円**で予算に対して330万円のマイナスで終了したが、この差異のほとんどの要因は収益事業であるアジア学生パッケージデザイン交流プロジェクト（以下アスパック）の受託収入によるものであった。（アスパック事業はかかった費用分を収益として計上している。）

事業収益はほぼ予算通り（マイナス9万）、また、雑収入は予算を60万ほど上回ったが、特筆すべきは会員からの受取入会金・受取会費が、わずかであるが、予算を上回ったことである。平成29年度では会員数の減少傾向は続いているがものの、法人会員が増え、個人会員が減ったことにより、全体では上記収益がプラスという結果であった。

一方、**経常費用**では予算7,518万円に対し、**7,003万円の実績**となり、予算に対して514万内輪で終了した。この内容を見ると、事業費では公益事業がマイナス90万、収益事業がマイナス409万、管理費がマイナス15万と各項目とも予算を下回る実績であった。収益事業であるアスパック事業は、JPDAとの関わりをより明確にするため、主に国内のアスパックウィーク（12月）、展覧会の費用に限定したことが費用減の要因になっている。全体の経常費用に占める公益事業の比率は72.34%であった。

経常収支を見ると、公益事業でマイナス24万円、収益事業で±0、法人会計でプラス219万円、**全体でプラス194万円**となり、予算に対して184万円のプラスで終了した。

経常外収支を加えた**当期一般正味財産増減額はプラス144万円**となっている。

なお、2020年のJPDA創立60周年に向けての積立は継続し、メンバーを強化した60周年記念事業チームで、今年度中に、2020年までの道程・事業コンセプト・事業の方向性と具体案をまとめて理事会に提案する予定である。

以上の収支決算書及びそれ以外の財務諸表は、池田、時田監事より監査報告書をいただいているので、その詳細は5月初旬に全会員に送付する予定の第37回総会議案書にてご確認ください。

第7号議案 第37回通常総会の招集の決定 承認の件

渡邊事務局長より、資料に沿って下記内容が提案され承認された。

1. 「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第38条 理事は、社員総会を招集する場合には、次に掲げる事項を定めなければならない。
 - 一、通常総会の日時及び場所
日時：平成30年5月31日(木) 午後2時50分～4時35分
場所：東京ガーデンパレス 2階「高千穂(A)」
 - 二、通常総会の目的である事項
議題：第1号議案 平成29年度事業活動実績 報告の件
第2号議案 平成29年度収支決算報告 承認の件
第3号議案 平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案) 承認の件
第4号議案 顕彰規定によるJPDAパッケージデザイン功績賞2018
顕彰者 報告の件
第5号議案 平成30・31年度役員(理事・監事)選任者及び
補欠理事選任者 承認の件
 - 三、社員総会に出席しない社員が書面によって議決権を行使することができる
こととするときは、その旨
第37回通常総会開催に当たり、通常総会に出席できない社員が書面によ
って議決権を行使しようとするときは、議決権を行使することができるこ
ととする。
2. 理事会設置一般社団法人においては、前条第二項の規定により社員が社員
総会を招集するときを除き、前項各号に掲げる事項の決定は、理事会の決
議によらなければならない。

第8号議案 委員会報告

<決裁事項>

○調査研究 (活動収支計算書について渡邊事務局長より報告)

- ・「パッケージに関する情報を調査報告する」活動に対して、収入0円、支出合計368,764円、協会補助金440,000円、収支差額 プラス71,236円が承認された。

○インターネット (活動収支計算書について渡邊事務局長より報告、中越理事から補足説明あり)

- ・「協会HP企画運営・更新、メールマガジン・SNS発信、マイワークス等」の活動に対し、収入(マイワークス掲載費)1,777,000円、支出合計1,600,064円、協会補助金980,000円、収支差額 プラス1,156,936円が承認された。

マイワークスの前年度の請求分が今期に入金されたことから、収入が予算(1,410,000円)を大幅に上回ったこと。また、システム化による内製により、制作費が大幅に低減されたこと等から、収支が大幅に改善された実績で終了することができた。

○コンペティション (活動収支計算書について渡邊事務局長より報告)

- ・『日本パッケージデザイン大賞2019』の企画・運営準備の活動に対し、収入0円、支出合計38,080円、協会補助金150,000円、収支差額 プラス111,920円が承認された。

現在、平成30年8月の審査に向けて、応募準備がスタートしている。

○**展覧会**（活動収支計算書について渡邊事務局長より報告）

- ・第二弾の創作展である『感じるパッケージデザイン展』の企画立案～案内書の発送に至る活動に対し、収入0円、支出合計753,944円、協会補助金790,000円、収支差額 プラス36,056円が承認された。ほぼ予算通りの結果であった。

○**出版**（前回の訂正2件）（活動収支計算書について渡邊事務局長より報告）

- ・前回3月の理事会で承認いただいた、出版委員会の以下2つの活動について、収入の部に誤りがあり（支出の部が変わらず）、訂正した収支決算書があらためて承認された。

1. 「PACKAGE DESIGN INDEX 2018」の平成30年5月を目指した企画制作の活動

- ・収入の掲載料が1ページ増えていたため、収入が54,000円プラス。修正差額でも同額の54,000円プラスの74,993円となった。（前はプラス20,993円）

2. 「年鑑日本のパッケージデザイン2017」を平成29年5月に発刊する活動

- ・収入（広告掲載料）に270,000円の未収金を加えたことから、収支差額がプラス178,623円となった。（前はマイナス91,377円）

○**総務**（会員名簿2018・カレンダー作成：活動収支計算書について渡邊事務局長より報告）

- ・平成29年度の予算では全体の管理費の中に合算されており、総務としての個別予算は明記されていなかったが実績報告を行った。

収入390,000円、支出合計、600,730円、収支差額 マイナス210,730円（＝協会補助金）が承認された。収入の広告掲載費が年々減少しているのが今後の課題である。

○**アスパック**（収益事業）（活動収支計算書について渡邊事務局長より報告）

前述したが、平成29年度の費用は主に国内のアスパックウィークと展覧会に関する費用に限定されたため、収入・支出とも大幅に当初予算を下回った。

収入1,456,159円、支出合計1,456,159円、収支差額0円が承認された。

なお、以下平成29年度のアスパック協会全体の収支も報告された。

収入合計28,100,000円（国際交流基金：16,000,000円＋企業協賛金：12,100,000円）、支出合計24,817,230円（内：前年度不足分1,460,028円含む）、収支差額 プラス3,282,770円。

平成29年度は企業協賛金が大幅に増えたことにより、収支も大幅に改善されている。

<報告事項>

○**アーカイブ**

入江（青木）理事より資料に沿って以下の報告があった。

- ・アーカイブ委員会の第1回セミナーについて以下の内容スケジュールで検討中とのこと。

1. 日 時：2018年10月25日（木）
2. 会 場：東洋インキ(株) 29階 セミナールーム
3. テーマ：パッケージデザイン「覧古考新」

4. 講師：松永 真氏、川上元美氏（講演料はそれぞれ100,000円の予定）

5. セミナー参加費：会員 5,000円 非会員 5,500円 学生 2,000円

藤田理事から参加費が高すぎるとの意見があったが、他の協会のセミナー参加費と比べてJPDAの参加費はむしろ低めであり、内容によってはある程度理解できるとの反対意見も多かった。

何名かの理事より、セミナーを映像で残して、参加できなかった会員でも見るような工夫が必要ではないかとの意見があった。

- ・2019年以降のパッケージ資料館（仮称）開設までの構想（案）が提示されたが、とくに2019年は印刷博物館で展示スペースを設けたいとのこと。（印刷博物館側とは未調整）
- ・伊藤副理事長からの質問があり、D-8 JDM活動についての現状報告があった。

○コンペティション

小原理事より資料に沿って「日本パッケージデザイン大賞2019」に向けた準備状況についての説明があった。

1. 一次（29名）・二次審査員（12名）・外部審査員（4名）が決定したこと
2. 作品募集のスケジュール（4/20：応募要項をWEB上にアップ、5/7～：応募受付）
3. 審査会スケジュールの概要

○インターネット

中越理事より、WEBの更新状況についての報告があった。その中で、関連団体からのお知らせの中にある「JAPAN DESIGNERS」の登録要件が変更になったことが案内された。

（従来は個人に限定されていたものが、法人、団体に所属するデザイナーも登録できるように変更された）

佐野理事より、JPDA活動の情報発信体制についての以下の提案があった。

- ・情報発信は大きく分けて「告知」と「報告」の2種類があり、いずれも重要。
- ・イベント開催の周知により、パッケージデザインというデザイン領域とJPDAの存在を広く知らしめることができる。その結果、会員が増え、JPDAの収益が上がることを期待できる。
- ・その情報発信強化のために、各委員会に「広報担当」の設置を検討いただきたい。

○アスパック関連

- ・江藤理事より、2018年の、国内の学校に対するアスパック関連の紹介・ワークショップについての実施計画（地図）についての案内があった。
- ・森理事より伊藤副理事長に対し、国内審査の審査員を至急決めてほしいという依頼があった。（3/26のキックオフミーティングで依頼済とのこと。）

第9号議案 事務局報告

渡邊事務局長より、資料に沿って以下の報告があった。

1. 第37回 通常総会、その他スケジュールについて

<当日の予定>

会場	部屋予約時間	催し	催し開催時間
2階 天空(A)	12:00～15:00	定例理事会	13:00～14:40
2階 高千穂(A)	14:00～17:00	通常総会	14:50～16:35
3階 桂	16:00～17:00	臨時理事会	16:40～16:55
2階 芙蓉	16:00～17:00	控え室	
2階 高千穂(B)	16:00～19:00	顕彰式	17:00～17:15
2階 高千穂(B)		記念講演会	17:15～18:45
2階 高千穂(A)	19:00～21:00	交流会	19:00～21:00

2. 平成29年度 入会・退会者一覧について (入会数-退会数)

- ・個人会員は-14人、法人会員は+7社、賛助会員は±0、全体で-7

3. 会員情報

- ・3月理事会承認されたで法人会員の個人会員への変更希望あり
- ・現在の個人会員の年齢分布

- ① 男女比率は男性63%、女性37%
- ② 50代以上が全体の58%、40代：28%、30代：11%、20代：0.4%と老齢化が進行
- ③ 30代、40代での男女比率はほぼ拮抗

4. 2018JPDAカレンダーについて (2017版に変更等がある場合は速やかに事務局まで)

5. 其他のご案内 (アスパック2017の図録、2018の応募案内 等)

第10号議案 次回定例理事会・臨時理事会開催の件

渡邊事務局長より、次回の理事会についての案内があった。

1. 定例理事会

日 時：平成30年5月31日 (木) 午後1時～2時40分

場 所：東京ガーデンパレス 2階 「天空(A)」

※ 定例理事会終了後、午後2時50分より第37回通常総会の開催を予定。

2. 臨時理事会

日 時：平成30年5月31日 (木) 午後4時40分～4時55分

場 所：東京ガーデンパレス 3階 「桂」

※臨時理事会終了後、午後5時より日本パッケージデザイン功績賞の顕彰式と受賞者の記念講演、受賞者を交えての交流会を予定。